

## 【2024 年度 終了レポート奨学生の声】

### 【奨学生 A さん】

大学に通うだけであればあまり問題なく大学生活を送れる学生と思われるかもしれませんが、音楽大学の学生は、受け身で授業に出席し卒業するだけではプロとして通用する力はなかなかつかず、まともな就職先も見つかりません。学生自身が夢に向かって積極的にアクションを起こさなければ音楽の道に進んだことを後悔してしまいそうですが、そのためにかかる費用は莫大で、そんなときに藤澤記念財団様とのご縁がありましたことに、心から感謝申し上げます。特に地方からコンクールやレッスンを受けることは簡単なことではなく、お金のかかる楽器でもやりたいことを一生懸命にやれる環境をいただけたことは、私にとって本当にありがたいことでした。現在の日本の芸術に対する理解や音楽家の地位・名誉は欧米諸国に比べ、低い傾向にあると思います。これらの挽回や、さらなる音楽の発展のためにはやはり幼少期から音楽文化について正しい教育を受ける必要があると考えます。そのために、私はまず自ら音楽性を学び、高めていこうと思います。そして日本でより音楽が生活に浸透するよう、積極的に活動・発信していきたいです。貴財団より受けたご恩を忘れず、いつか私も音楽で社会に貢献できるよう、日々精進いたします。重ねてではありますが、御礼申し上げます。ありがとうございました。

### 【奨学生 B さん】

進路で積極的に取り組むことは、子どもたちへの音楽教育です。私は私自身の経験を通して、音楽は人生を豊かにするものだとは確信しています。子どもたちにとって、これから長い人生の悲しく辛い時、嬉しく幸せな時、それぞれの瞬間に音楽は寄り添ってくれるものだと感じています。いつか音楽教室の手を離れても、その先の人生で音楽を豊かに楽しめるように、音楽を学んでよかったと感じることが我々の使命だと考えております。

就職先の進路では音楽教育のみならず、幼児の特性などの子どもへの教育に特化した教育を行っております。音楽を教える場面だけでなく、子どもに対する接し方や伝え方を学びつつ、より音楽教育に深く携われるよう精進します。

貴財団から奨学金をいただいていた 1 年間は修士論文と修士研究(実技)が両方あり、私自身にとっても挑戦の 1 年でした。時間の合間を縫って論文を執筆し、その中で全力で楽器と向き合うことは、至難の業でした。しかし全て後悔なく終えることができたのは紛れもなく、貴財団の奨学金の支援があったからです。この 1 年間支援いただいたことは、感謝しても仕切れないほどです。

### 【奨学生 C さん】

この度は、奨学生としてご支援いただき、誠にありがとうございました。

奨学金をいただけたことで、アルバイトの時間を減らすことができ、学業に専念することができました。ご支援を賜った結果、今年度の目標であった教員採用試験と大学院入試の両方に合格することができました。

また、大学時代の集大成として取り組んだ卒業研究発表会では、発表会の掉尾を飾る機会にも恵まれました。

この合格は、奨学金のご支援がなければ実現できなかつたと確信しています。今こうして目標を達成し、新たな道へ進むことができるのは当たり前のことではないと思っています。

賜ったご支援に心より感謝申し上げるとともに、大学時代に得た多くの学びをこれから出会う子どもたちに還元していきます。

### 【奨学生 D さん】

私自身、高校時代の恩師との出会いにより、教員を志すようになりました。大好きな音楽をひたすら勉強する過程で、演奏家や大学院進学という選択を考えたことも少なからずありましたが、何よりも地元の教員になって、児童生徒に文化芸術の素晴らしさを伝えたい、後世に繋げていきたいという思いが強かったです。その思いが実ったのか、ありがたいことに昨年度の夏頃、地元の教員採用試験に合格し、春から教員としての生活を開始します。

教壇に立つ以上、生徒の見本となるような人間になれるよう、自分の強さは武器にし、自分の弱さは素直に受け入れて、内面もさらに成長できるよう取り組んでいきたいです。

そして、同僚の先生の姿を見ながら、私もたくさん素敵どころを吸収し、いずれ一人前の音楽の教師になれるよう、日々努力を重ねていきたいと思います。

貴財団の取り組みによって、今後も多くの音楽を学ぶ学生が、私のように救われ、日々の生活が充実することを深く願っております。改めて、心より感謝申し上げます。

### 【奨学生 E さん】

この一年、奨学金をいただけたおかげで本当に色々なことに挑戦できたと思います。普段の授業や練習だけじゃなく、外に出ていろんな音楽を聴いたり、演奏したりと、色々な人と関わることができたことで、自分が今まで見えてなかったことに気づけたり、自分の足りないところも実感したり、成長できた手応えもあって、すごく成長できた一年になったと思います。音楽を続けていく中で、このような奨学金という形で背中を押してもらえることがどれだけありがたいかを感じる一年でした。応援してくださっていると思えることが、自分の気

持ちを前向きにして、「もっと頑張ろう」って自然に思える力になっていたと思います。これからまだまだ成長して、誰かに音楽で何かを返していければいいなと思っています。本当にありがとうございました。